

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

2 期連続 1 位 (6 期目)

モノレール町田延伸の課題

町田市の多数の住民にとって、交通の不便さ（鉄道が通わない、あるいはバスの便が悪い）は大きな課題であり、その問題解消、あるいは改善は重要政策案件と考えています。

その案件の一つが多摩都市モノレールの町田延伸という点ですが、これまで行政はそのことに対して非常に消極的でした。それは町田延伸という課題の実現はお金も時間もかかるテーマであり、全域的な住民の要望にはなりにくい内容であるためでしょう。つまり、鉄道が通っている地域の住民から見れば、すでに解決済みの課題となっているためです。しかし、政治は満たされた人の為の有るのではなく、不足の思いを持っている人に解決策を提示するのが役目と私は考えています。

その意味で、町田市行政がこの多摩都市モノレールの延伸を「促進」の立場に方針転換することは私がかねて主張してきたことであり、町田市のモノレール延伸の協議会組織も次回からようやく議会からトップメンバーを受け入れるように方針変更することになったようです。



ちなみにこの写真の町田市立国際版画美術館は交通不便な場所にあります。モノレール路線があれば便利なものとなります。

町田市交通政策特別委員会

6 月開催の市議会第 2 定例会において、議員提出議案として、「町田市交通政策特別委員会」の設置を求める動議が提出され、直ちに全会一致で承認されました。



(後方は小山田のリサイクルセンターです)

この特別委員会は、小田急多摩線延伸、多摩都市モノレール町田方面延伸、バス路線網再編、その他交通政策に関して調査・検討を行うものです。私も含めて 10 名のメンバーが決まり、佐藤伸一郎議員が委員長となりました。ご承知の通り、私は交通問題を自分の主要な政策公約とし、「リニア中央新幹線開通」に関して町田市が直接的にかかわる主張をしており、その論点をさらに提起する考えです。

また、今定例議会で行政から明らかにされたのは、小田急多摩線延伸において、町田市内には駅を 1 か所（小山田地域）で設置する案を持って建設促進策とする考えであることが明らかになりました。町田街道付近の小山田地域の駅の設置には 200 億円もの費用がかかるために、その区間はバスで代替えしたい旨の説明があり、地元議員はとにかく鉄道路線早期開通の視点で賛同する見解を示していました。今後は地元対策が欠かせないことになるでしょう。

★ 無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム

携帯QRコード
でブログ閲覧

バスセンター&バスターミナル

町田に始めて来た人や、よそから用事があって町田に来た人には、町田のバスセンターとバスターミナルを間違える人が大勢います。他の人と待ち合わせや、遠距離バスの乗り込むために集合する場合にそれを間違えると事態は大変です。しかも、観光バスなどは定時に出発しないと後の予定が立ちません。

それが行政の問題だと思う行政マンは無く、人を街に向かい入れることや、優しく教えることに関心がないのでしょうか。

朝の時間帯のバスターミナルは、路線バスの発着は無く、観光バスの専用発着場になっています。観光バスが市街地の道路で出発待ちして他の車両が渋滞することを無くするための施策で、交通政策では意義ある対応です。一般車両の通行には良いことですが、観光バスの利用者にはその場所に至る道筋がわかりにくく、朝の時間、バスセンター付近で迷っている人を何度も見かけます。少しの表示をしてあげれば問題は解消するはずですが、町田市は重い腰をなかなか上げてくれません。

夏季インターン生を募集中!



1名を受け入れ決定し、さらに募集中!

研修生レポート ⑥ 岡村 真愛

東工大の大学祭(すずかけ祭)は基本的に展示を見る形で回りました。がんの細胞をみたり、有機合成についての展示の説明をきいたり、私の大学で学んでいることとは分野がかなり違うので興味深く聞かせていただきました。



その後、町田茶道会のお茶会に出席しました。今回は室内で行われたものであったため、また少し違った雰囲気でお茶を楽しむことができました。茶器やお皿にはじまり、部屋に飾ってある掛け軸、お花、そして着物に至るまですべて主催者の方が自前で用意されたものだそうです。そのひとつひとつにこだわりがあり、日本の伝統の素晴らしさやそれにふれる意義を再認識させられました。また、お作法や焼き物の名前など知らないことや初めてきくものが多くありました。わたしは大学で国際交流を専攻していて、他の文化を学び、理解することに重きをおいていたのですが、それ以前に自国の文化のことでも知らないことが多いことに気づかされ課題がまた一つ増えました。

フェリス女学院大学2年生 岡村 真愛
(吉田つとむ 第34期研修生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail: yoshidaben@gmail.commobile: yoshidaben@docomo.ne.jp